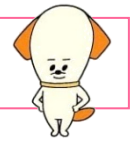
幼稚園児＆保育園児パパ（2018年／全国）「園児パパのプロフィル」

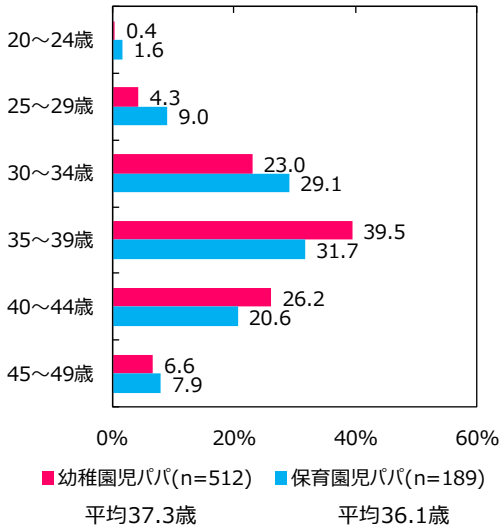
調査方法 ：Webアンケート
調査対象 ：全国のあんふぁん読者、ぎゅって読者、あんふぁんWebユーザー、ぎゅってWebユーザー
調査実施時期 ：2018年6月6日～7月1日
集計数 ：701件



平均年齢は幼稚園37.3歳、保育園36.1歳、お小遣いは昨年よりアップ

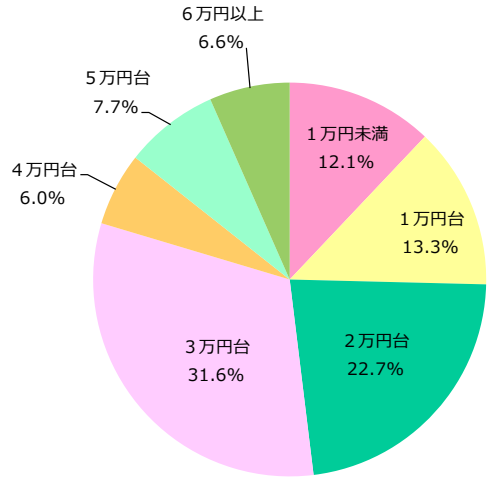
平均年齢は昨年とほぼ変わらずだった。お小遣いは、全体で昨年より約1800円アップ。幼稚園パパは約1500円アップで3万20円、保育園パパは約2600円アップで3万3218円。
ママも働いている人が多い保育園パパの方が約3000円多い結果となった。

●年齢（幼保別）



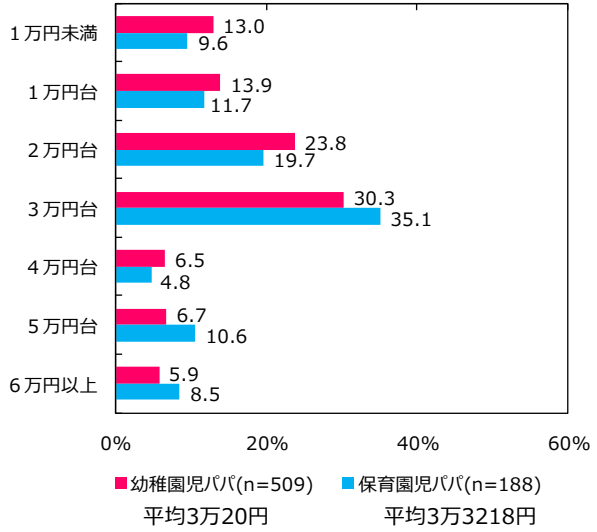
平均37.3歳　　平均36.1歳

●パパのお小遣いは、ひと月いくらですか？（n=697）



平均3万882円

●パパのお小遣いは、ひと月いくらですか？（幼保別）



平均3万20円　　平均3万3218円

幼稚園児とママの情報誌「あんふぁん」
私立幼稚園に通う園児とママのための情報誌。子育て情報はもちろん、地域密着情報を発信し子育てライフをサポートしています。
あんふぁんサイト　https://enfant.living.jp

働くママと園児の情報誌「ぎゅって」
毎日が時間と勝負の保育園ママのために、しっかりと役立つ情報をコンパクトに凝縮したメディアです。
ぎゅってサイト　https://gyutte.jp

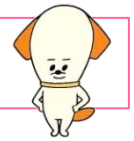
リビングくらしHOW研究所
女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。
ウェブサイト　https://www.kurashihow.co.jp　問い合わせ　TEL　03-5216-9420　FAX 03-5216-9430

Copyright© 2019 LIVING KurashiHOW Institute All rights reserved.

リビングくらしHOW研究所

幼稚園児＆保育園児パパ（2018年／全国）「家族みんなで過ごす時間」

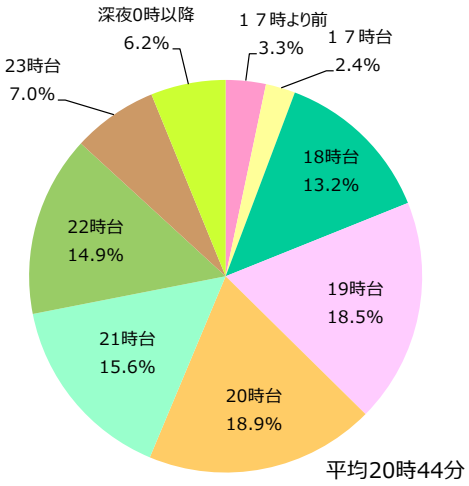
調査方法 ：Webアンケート
調査対象 ：全国のあんふぁん読者、ぎゅって読者、あんふぁんWebユーザー、ぎゅってWebユーザー
調査実施時期 ：2018年6月6日～7月1日
集計数 ：701件



昨年より帰宅時間は遅くなり、平日子どもと過ごす時間も減少

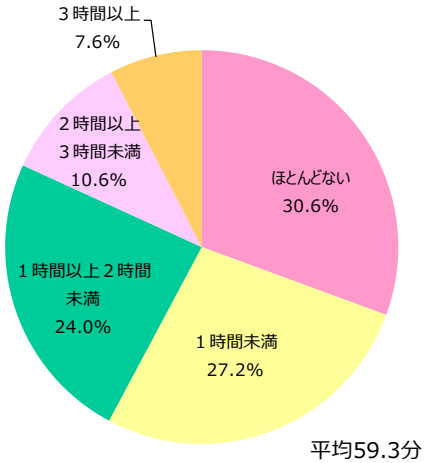
「平日の平均帰宅時間」は午後8時44分と昨年より10分ほど遅い結果に。遅くなった結果を反映してか、「平日子どもと一緒に過ごす時間」も平均で5分ほど短くなり1時間を切る結果となった。
「ママとのコミュニケーション」では、「LINEなどのSNS」が10%アップし、その反面「メール」が減る結果となった。

●平日（仕事のある日）、帰宅するのは平均何時ごろですか？（n=698）



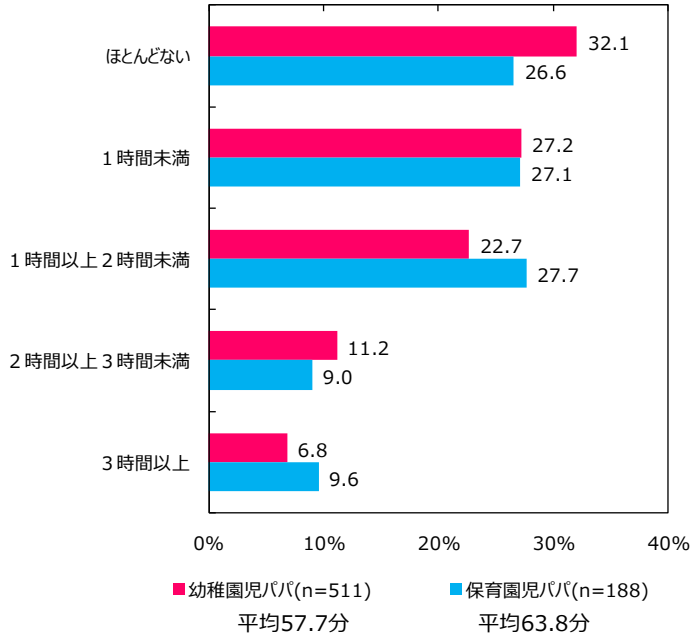
平均20時44分

●平日（仕事のある日）、子どもと一緒に過ごす時間はどれくらいですか？（n=699）



平均59.3分

●平日（仕事のある日）、子どもと一緒に過ごす時間はどれくらいですか？（幼保別）



平均57.7分　平均63.8分

幼稚園児とママの情報誌「あんふぁん」
私立幼稚園に通う園児とママのための情報誌。子育て情報はもちろん、地域密着情報を発信し子育てライフをサポートしています。
あんふぁんサイト　https://enfant.living.jp

働くママと園児の情報誌「ぎゅって」
毎日が時間と勝負の保育園ママのために、しっかりと役立つ情報をコンパクトに凝縮したメディアです。
ぎゅってサイト　https://gyutte.jp

リビングくらしHOW研究所
女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。
ウェブサイト　https://www.kurashihow.co.jp　問い合わせ　TEL 03-5216-9420　FAX 03-5216-9430

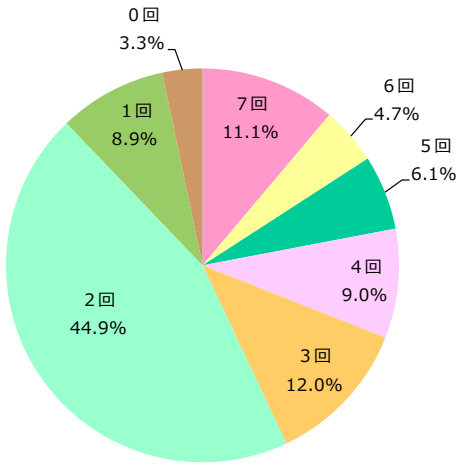
Copyright© 2019 LIVING KurashiHOW Institute All rights reserved.

リビングくらしHOW研究所

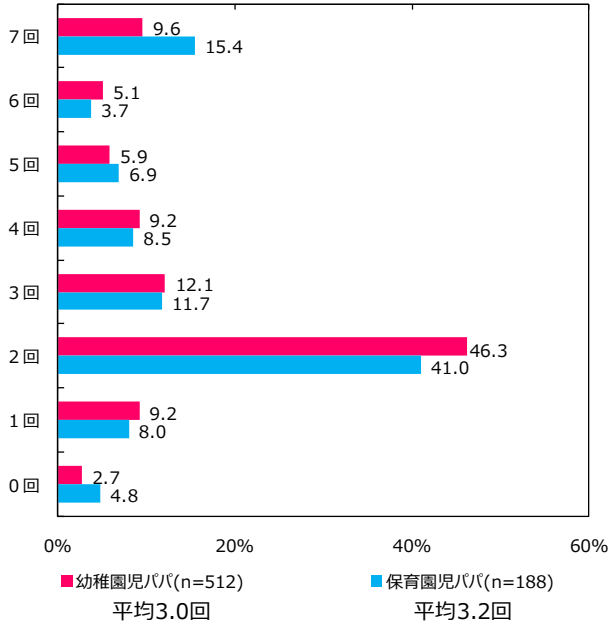
幼稚園児＆保育園児パパ（2018年／全国）「家族みんなで過ごす時間」

調査方法 ：Webアンケート
調査対象 ：全国のあんふぁん読者、ぎゅって読者、あんふぁんWebユーザー、ぎゅってWebユーザー
調査実施時期 ：2018年6月6日～7月1日
集計数 ：701件

●夕飯を週に何回子どもと一緒に食べますか？（n=700）

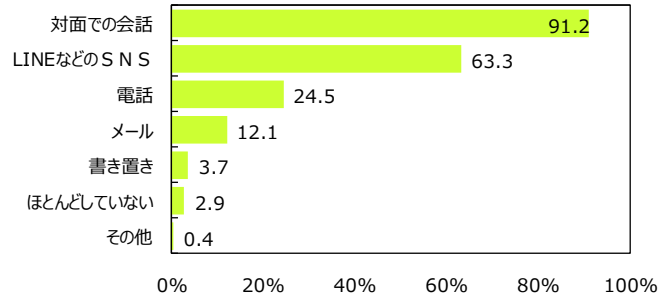


●夕飯を週に何回子どもと一緒に食べますか？（幼保別）



平均3.0回　　平均3.2回

●ママとはどういう方法でコミュニケーションをしていますか？（複数回答）（n=701）



ママに伝えたいメッセージ

- いつもありがとう。子どもたちも大きくなり、家族の絆もどんどん強くなってきていると感じます。これからも、ずっとずっと、よろしく！（37歳・岩手県）
- 子どもとよくコミュニケーションをとってくれていて、平日日中の様子を写真とともに教えてくれます。円満です。（36歳・千葉県）
- 3人の子どもを育てるのは大変ですよね。いつも感謝しております。3人目の子どもが生まれてから体調を崩すことが多くなり心配ですが、あまり無理せず子育て楽しんでくださいませ。休みの日は子どもを見ますので自分の時間も大切にね！（37歳・埼玉県）
- フルタイムでの仕事と、育児の両立は大変だけど、凄く頑張っていると思います。できる限りサポートするので、一緒に頑張ろう！（34歳・神奈川県）
- 愛してるよ！ いつも子どもたちを愛してくれてありがとう！ 少しは俺のことも気に掛けてね！ 普段子どもたちのことは任せっぱなしで力になれているのか分からないけど、子どもたちのことを一番に考えてこれから家族仲良く笑って過ごしましょう。（34歳・大阪府）

幼稚園児とママの情報誌「あんふぁん」
私立幼稚園に通う園児とママのための情報誌。子育て情報はもちろん、地域密着情報を発信し子育てライフをサポートしています。
あんふぁんサイト https://enfant.living.jp

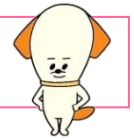
働くママと園児の情報誌「ぎゅって」
毎日が時間と勝負の保育園ママのために、しっかりと役立つ情報をコンパクトに凝縮したメディアです。
ぎゅってサイト https://gyutte.jp

リビングくらしHOW研究所
女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。
ウェブサイト https://www.kurashihow.co.jp　問い合わせ TEL 03-5216-9420 FAX 03-5216-9430

Copyright© 2019 LIVING KurashiHOW Institute All rights reserved.

幼稚園児＆保育園児パパ（2018年／全国）「園児パパの育児休暇」

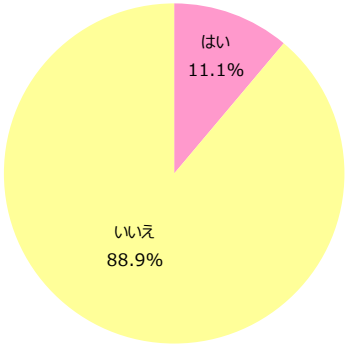
調査方法 ：Webアンケート
調査対象 ：全国のあんふぁん読者、ぎゅって読者、あんふぁんWebユーザー、ぎゅってWebユーザー
調査実施時期 ：2018年6月6日～7月1日
集計数 ：701件



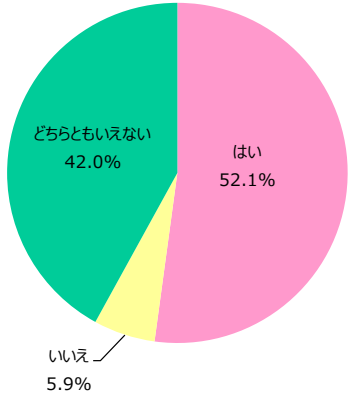
男性の育児休暇を必要と思う人が半数越え、取得も若干アップ

男性の育児休暇が「必要」と回答した人は、昨年より若干アップし、半数を超える結果となった。実際に取った人も11.1%と少しアップした。

●育児休暇（育休）をとったことがありますか（n=701）



●男性の育児休暇（育休）は必要だと思いますか？（n=700）



男性の育休についての意見

- 昇給や、居場所がなくなるなど、やはり男性の育休はまだまだ壁がある気がします。（30歳・青森県）
- 独身時代は育休を取る男性社員に対して不満がありましたし、その方は孤立していました。しかし父親になり育休の必要性が分かり、周りがもっと理解し取りやすい環境を作らないといけないと感じています。（36歳・兵庫県）
- 必要があれば誰でもいつでも取れる環境になればいいと思う。（34歳・埼玉県）
- 取る風潮なのは分かるが、自分の部下が取るとなると心配。（28歳・大阪府）
- 男性は育休を取っても1週間とかの人が多いです。もっと長期間取るように変えていけたらなと思います。（34歳・神奈川県）
- 給料が安くなってしまうので取りにくい。（39歳・神奈川県）
- 会社で初めて長期間の育休を取りましたが、思うほど周りから嫌な声はありませんでした。また、子どもと過ごす時間も増えそのおかげか大きくなって来ても仲良しです。育休、積極的に取ってはいかがでしょうか。（37歳・大阪府）
- 育児休暇を取りにくい職場でしたが、妻の産後1カ月取得しました。現在、職場で初めて、育児短時間勤務の中のフレックスタイムを利用し、朝4時出勤～16時ごろ帰宅の日々を送っています。職場では応援してくれる人もいますが、そうでない人もいます。少しずつですが、育児休暇や時短勤務を取得できるパパが増えるようにと思っています。育児に参加したいパパはたくさんいます！ どうか、皆さんでパパの育児参加に優しい世の中を作りましょう！（30歳・東京都）

幼稚園児とママの情報誌「あんふぁん」
私立幼稚園に通う園児とママのための情報誌。子育て情報はもちろん、地域密着情報を発信し子育てライフをサポートしています。
あんふぁんサイト https://enfant.living.jp

働くママと園児の情報誌「ぎゅって」
毎日が時間と勝負の保育園ママのために、しっかりと役立つ情報をコンパクトに凝縮したメディアです。
ぎゅってサイト https://gyutte.jp

リビングくらしHOW研究所
女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。
ウェブサイト https://www.kurashihow.co.jp 問い合わせ TEL 03-5216-9420 FAX 03-5216-9430

Copyright© 2019 LIVING KurashiHOW Institute All rights reserved.